

フローレベラー® (床用)



登録番号	0310002
放散等級 区分表示	F☆☆☆☆

標準施工要領

1 下地調整

- 下地のレイトンス、油分、ほこり、接着剤(黒のり等)等は、接着不良の原因となりますので、丁寧に除去・清掃してください。
- コンクリート上のレイトンスや雨に打たれた脆弱部は、サンダー、ポリッシャー掛け等で完全に除去し、健全な下地面を露出させてください。



2 レベル出し

- 仕上げ面を表示するために墨出しをし、レベルポイント(あたり)を設置してください。

3 プライマー塗布

- プライマーの塗布は左官用刷毛、デッキブラシ等を用いて下地に刷り込むように塗布し、十分に浸透させてください。プライマーが未乾燥状態で次工程の作業に移ると、仕上り不良や接着不良等の原因となりますので、十分乾燥させてください。

SLプライマーONE

成分	アクリル系共重合ラテックス
塗布方法	1回塗布 3倍希釈液 (SLプライマーONE 1:水 2)
塗布面積	150~180m ² /缶

*雨打たれ、軽量・高強度コンクリート下地への施工は弊社へお問い合わせください。

4 練混ぜ

- 所定量の水を高速ミキサー等に入れ、攪拌しながら徐々に「フローレベラー(床用)」を投入し、投入終了後3分以上練り混ぜてください。

5 流し込み

- 練混ぜした「フローレベラー(床用)」を部屋の隅から順に流し込みトンボか金鋸でレベルポイントに合わせて均してください。
- 流し込みは、練り混ぜ後20分以内で行ってください。
- 床用は、塗厚30mm以下で使用ください。



6 養生

- 硬化するまでは直射日光・雨・風を防ぐために窓は閉め切ってください。通常は施工翌日に軽歩行可能ですが、冬場は2昼夜以上の養生を要します。十分に硬化するまでは荷重、振動、衝撃等を避けてください。
- 貼り物仕上げまでの養生期間は夏場7日以上、冬場14日以上設けてください。



特長

優れた水平性

熟練技術を要することなく、水平精度の優れた床面が得られます。

工期短縮と省力化

高速ミキサーと圧送ポンプの施工機械を組み合わせることより、大幅な工期短縮と省力化ができます。

優れた耐水性

「フローレベラー(床用)」はセメント系ですので、硬化後は耐水性に優れ、高い強度を示します。

用途

- 塩ビタイル、長尺シート、クッションフロア、木質系床材等の貼り床の下地。
- 畳、カーペット、じゅうたん等の敷床の下地。

標準仕様

製品荷姿	25kg/袋	
練り混ぜ水量	清水6~6.5リットル	
適用下地	コンクリート、モルタル	
施工厚み	5~30mm	
施工面積	1袋	約1.55m ² (厚み10mm)
	100m ²	約65袋 (厚み10mm)

物性 <試験結果(写)>

試験項目	試験結果		JASS 15M-103 セルフレベリング材の品質基準	
フロー値 [cm]	22.8		19以上	
凝結時間 [時間-分]	始発	5-50	始発	0-45以上
	終結	10-35	終結	20-00以内
圧縮強度 [N/mm ²]	21		20以上	
下地接着強度 [N/mm ²]	2.0		0.7以上	
表面接着強度 [N/mm ²]	2.0		0.5以上	
長さ変化 [%]	0.07		0.12以下	
耐衝撃性	割れ及びはがれなし		割れ及びはがれないこと	

(試験場所: (財) ベターレビング)




施工上の注意

- 1 勾配を必要とする場所の施工はできません。
- 2 下地コンクリートは、打設後1ヶ月以上養生し、乾燥を良く確認して、施工してください。剥離の原因となります。
- 3 下地コンクリートに油が浸透していたり、塗料・接着剤が残っている場合は施工しないでください。
- 4 「フローレベラー(床用)」は貼り床下地材として使用してください。
- 5 「フローレベラー(床用)」は既調合品です。現場にて他の材料を混入しないでください。
- 6 気温が5℃以下の場合には施工を避けるか適当な保温養生を行ってください。
- 7 床仕上げ材の施工は、1ヵ月以内を標準とし、それ以上の期間放置する場合はシート等で養生してください。

セルフレベリング材

<p>関連 商材</p>	 <p>セメント系 セルフレベリング材 フローレベラー [天端用]</p>	 <p>セメント系 セルフレベリング材 (速硬タイプ) フローレベラーS</p>	 <p>車載プラント 供給システム(床用) 生レベラー</p>	 <p>排水溝専用モルタル 下地調整用 ドレンフロー</p>
-------------------------	--	---	---	---

※商品の詳細については弊社までお問い合わせください。

  	<h3>危険</h3>	<p>重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。発がんのおそれ。臓器の障害(呼吸器系)。 長期にわたる又は反復ばく露による臓器の障害(呼吸器系・腎臓)。</p>
<p>【安全対策】 ・保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。 ・粉じん、ヒュームを吸入しないこと。 ・取扱い後はよく手、顔を洗うこと。</p>		<p>【応急措置】 ・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 ・皮膚に付着した場合：水またはシャワーで洗うこと。 ・眼に入った場合：よく水で洗浄し、直ちに医師に連絡すること。 ・飲み込んだ場合：口をすすぐこと。 ・ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。</p>
<p>【保管】 ・部外者が触れないような措置をし、保管すること。</p>		
<p>【廃棄】 ・内容物/容器を国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。</p>		
<p>本製品の安全な取扱いについては、安全データシート(SDS)をご確認ください。</p>		

<p>⚠ 注意事項</p> <p>【使用上の注意】 ・気温が5℃以下の場合には施工を中止するか、保温状態がとれる環境で施工すること。 ・破袋または一度開封して放置された材料は使わないこと。 ・本製品はセメント製品につき湿気厳禁。雨露や直射日光を防ぎ、ハレット等を敷き床面から離し、通気の良い場所で保管し、製造後3ヶ月までを目安に使用すること。</p>	<p>【カタログに関する注意事項】 ・本カタログに記載されている数値は、測定値の代表例です。 ・本カタログの内容は、予告無しに変更することがあります。 ・本カタログ記載の用途は、本製品の当該用途へ使用した結果を保証するものではありません。</p>
---	--

株式会社 トクヤマ エムテック

URL <https://www.k-tokuyama.co.jp>



<p>本社・東日本事業部</p>	<p>103-0023 東京都中央区日本橋本町4-8-16 KDX新日本橋駅前ビル3F TEL 03-6265-1075 FAX 03-6265-1073</p>
<p>中日本事業部</p>	<p>573-0102 大阪府枚方市長尾家具町3-8-3 TEL 072-857-2770 FAX 072-857-1125</p>
<p>中国営業所</p>	<p>745-8648 山口県周南市御影町1-1(株)トクヤマ セメント開発グループ2F TEL 0834-62-7201 FAX 0834-62-7202</p>
<p>西日本事業部</p>	<p>812-0055 福岡県福岡市東区東浜2-82-2 TEL 092-642-9070 FAX 0834-62-7202</p>
<p>九州営業所</p>	<p>299-0268 千葉県袖ヶ浦市南袖10 TEL 0438-60-8770 FAX 0438-60-8370</p>
<p>首都圏セメント建材 開発センター</p>	<p>299-0268 千葉県袖ヶ浦市南袖10 TEL 0438-60-8770 FAX 0438-60-8370</p>

工場 / 枚方工場(大阪) 袖ヶ浦工場(千葉) 九州製造拠点:(株)熊本砂鈣業(熊本)

販売店